記者発表

令 和 ６ 年 ９ 月 １ ２ 日
山形県道路メンテナンス会議

令和６年度「第１回 山形県道路メンテナンス会議」を開催

～道路施設の効率的な老朽化対策の推進に向けて～

「山形県道路メンテナンス会議」は、道路インフラの予防保全・老朽化対策の体制強化を図るために平成２６年度に設立され、これまで道路施設の定期点検計画の策定、見学会・研修会、点検及び修繕の実施に取り組んできたところです。
今回、令和５年度の点検結果等について、情報共有を図るとともに、効率的な老朽化対策の推進を目的に、以下のとおり会議を開催します。
なお、会議形式は書面送付による文書開催とします。

１．日　時：令和６年９月１３日（金）

２．参加者：山形県道路メンテナンス会議構成員
（東北地方整備局、山形県、県内３５市町村、
東日本高速道路(株)東北支社）

３．主な議事
（１）これまでの活動経緯
（２）令和５年度の点検結果（速報値）
（３）令和６年度の活動計画（案）
（４）技術支援

４．書面開催
上記の議事及び道路メンテナンスに関するご意見等について、会議構成員の意見を確認します。

〈発表記者会：山形県政記者クラブ〉

＜問い合わせ先＞
山形県道路メンテナンス会議事務局
国土交通省　東北地方整備局　山形河川国道事務所
事業対策官　　工藤（くどう）　金充（かねみつ）　TEL 023-688-8421（代表）（内線445）

山形県　県土整備部　道路保全課
道路保全課長　　小林（こばやし）　雅史（まさふみ）　TEL 023-630-2610（直通）

令和６年度　第１回
山形県道路メンテナンス会議

令和６年９月１３日

議　事

1. これまでの活動経緯　【資料１】

2. 令和5年度の点検結果（速報値）　【資料２】

3. 令和6年度の活動計画（案）　【資料３】
   （１）活動方針
   （２）年間スケジュール
   （３）道路メンテナンス会議開催時期等
   （４）技術力向上、点検の効率化
   （５）広報活動

4. 技術支援　【資料４】

1. これまでの活動経緯

資料１－１

メンテナンス会議の目的

【会議設立趣意】

- インフラの老朽化対策が社会的な課題
- 地方自治体においても、道路インフラを適正に維持管理していくことが重要
- 特に市町村では、道路構造物の維持管理についての**技術ノウハウや土木技術系職員が不足**しているなどの課題
- 今後は、点検や計画策定の定期的な実施に加え、それに基づく修繕の実施も大きな課題
- 国において策定された「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、各インフラの管理者は、「インフラ長寿命化計画」及び「個別施設毎の長寿命化計画を策定する必要あり
- これらを踏まえ、橋梁・トンネル等の定期的な点検がスタートしようとするこの機に、**道路管理者が連携**しながら、**技術力の向上**、**インフラの長寿命化の推進**、さらには道路インフラの維持管理についての**情報共有や課題解決への連携**を深め、道路の管理を効果的に行っていくことが急務
- これらの取り組みに当たっては、個々の道路管理者で対応するよりも**県内道路管理者が一体となって対応することが効果的**であり、そのための新たな組織が必要

1. これまでの活動経緯

メンテナンス会議の目的

【規約】

（事業）第3条　会議は第2条の目的を推進するため、次の事業を実施する。

（1）道路メンテナンスに関する情報共有に関する事業
（技術基準説明会や現地研修会の実施、損傷事例や対応事例、点検や措置状況等）

（2）関係者の意見調整に関する事業
（点検、補修等に重点的に取り組むべき路線に関する意見調整、対外協議に関する調整等）

（3）国民・道路利用者等を対象とした広報に関する事業
（点検結果や構造物の健全度に関する情報発信、老朽化対策に関する関心と理解の醸成等）

（4）前各号に挙げるものの他、会議の設立の目的に沿った活動の企画及び実施に関する事業

1. これまでの活動経緯

資料１－２

山形県道路メンテナンス会議の活動記録

年度	月	会議	研修・講習会	広報活動
2014 (H26)	4～6	5/30 第1回道路メンテナンス会議(設立)		6月 パネル展示(鶴岡市市役所)
	7～9		8/6 橋梁長寿命化総合研修(点検編) 新庄会場 8/7 橋梁長寿命化総合研修(点検編) 天童会場	7月～8月 パネル展示(各道の駅・各自治体)
	10～12	10/10 第2回道路メンテナンス会議	11/6 橋梁長寿命化研修(概説編・設計編) 12/17 トンネル長寿命化対策研修	10/7 橋梁点検体験実習(高校生) 10/25 橋の老朽化対策現場特別見学会(一般者)
	1～3	1/14 第3回道路メンテナンス会議 3/11 こ道橋連絡会議(設立)		
2015 (H27)	4～6	5/29 第1回メンテナンス会議	6/25 橋梁長寿命化総合研修(点検編)酒田会場	
	7～9	8/26 第2回道路メンテナンス会議	7/2 橋梁長寿命化総合研修(点検編)長井会場 7/17 現地研修(Co橋補修事例) 9/9 トンネル長寿命化対策研修	
	10～12		11/10～11 橋梁技術研修(鋼橋・PC橋)	12月 パネル展示(各道の駅・県庁)
	1～3	1/13 第3回道路メンテナンス会議		1月～2月 パネル展示(各道の駅・県庁)

1. これまでの活動経緯

資料１－２

山形県道路メンテナンス会議の活動記録

年度	月	会議	研修・講習会	広報活動
2016 (H28)	4～6	6/29 第1回道路メンテナンス会議		4月～6月 パネル展示・点検体験(各道の駅・各自治体) 6/8 天童市イベント パネル展示・点検体験(高校生) 6/11 河北町イベント 橋梁打音検査体験(小学生) 6/17 橋梁点検体験学習(高校生)
	7～9	8/3 こ道橋連絡会議	9/27 橋梁長寿命化総合研修(点検編) 山形会場 9/28 橋梁長寿命化総合研修(点検編) 寒河江会場	8月 パネル展示(県庁)
	10～12		10/26 現地研修(PC橋補修事例) 11/11 現地研修(鋼橋補修事例) 11/29 長寿命化対策研修 (道路附属物・溝橋編)	10月 パネル展示(各自治体) 10/19 補修工事現場見学(一般者) 11/22 トンネル内装版更新工事見学会(報道関係者) 12/1 老朽化対策取材(TV放映)
	1～3	3/6 第2回道路メンテナンス会議 3/6 道路鉄道連絡会議(設立)		2/14 メンテナンスサイクル新聞広告掲載
2017 (H29)	4～6			4月～6月 パネル展示・点検体験(各道の駅・各自治体) 5/18 職業体験学習 座学・点検体験(高校生) 6/7 天童市イベント パネル展示・点検体験(高校生) 6/24 河北町イベント 橋梁打音検査体験(小学生)
	7～9	8/2 第1回道路メンテナンス会議 8/2 こ道橋連絡会議	7/28 現地研修(横断歩道橋補修事例) 9/6 道路メンテナンス研修(点検編)酒田会場 9/7 道路メンテナンス研修(点検編)高畠会場 9/27 既設橋の耐震補強現場視察・座学	7/7 職業体験学習 座学・点検体験(高校生) 8月 パネル展示(県庁)
	10～12	12/20 第2回道路メンテナンス会議	10/5 現地研修(橋梁床版補修事例) 10/31 道路メンテナンス研修(舗装点検・小規模附属物編)	10月 パネル展示・点検体験(各道の駅・各自治体)
	1～3	2/19 第3回道路メンテナンス会議 2/19 道路鉄道連絡会議		

1. これまでの活動経緯

資料１－２

山形県道路メンテナンス会議の活動記録

年度	月	会議	研修・講習会	広報活動
2018 (H30)	4～6	5/31 事務局会議		
	7～9	9/4 第1回道路メンテナンス会議	9/10 道路メンテナンス研修(点検編)天童会場 9/12 道路メンテナンス研修(点検編)新庄会場 9/19 現地研修(橋梁補修例(塗装)) 9/26 既設橋の耐震補強現場視察・座学	4月～6月 パネル展示・点検体験(各道の駅・各自治体) 6/6 天童市イベント パネル展示・点検体験(高校生) 6/23 河北町イベント 橋梁打音検査体験(小学生)
	10～12		10/3 現地研修(橋梁床版橋梁補修例) 10/18 山形県橋梁技術研修・・・県主催 11/7 道路メンテナンス研修(舗装点検・土工構造物点検編)	7/6 職業体験学習 座学・点検体験(高校生) 8月 パネル展示(県庁)
	1～3	2/25 山形鉄道連絡会議		10月 パネル展示・点検体験(各道の駅・各自治体)
2019 (R1)	4～6	4/23 定期点検要領等改定説明会 6/12 事務局会議	5/14 現地研修(RC床版取替)	4/28 寒河江市イベント パネル展示・体験乗車(一般者) 5/5 道の駅いいで パネル展示・体験乗車(一般者) 5/6 山形市イベント パネル展示・体験乗車(一般者) 6/5 天童市イベント パネル展示・打音検査・体験乗車(高校生) 6/22 河北町イベント 橋梁点検・打音検査・体験乗車(小学生)
	7～9	8/7 第1回道路メンテナンス会議	7/1 現地研修(橋梁補修(塗装塗替) 9/10道路メンテナンス研修(橋梁点検編) 村山会場 9/11道路メンテナンス研修(橋梁点検編) 庄内会場	8/1～8/15 老朽化対策パネル展示(県庁)
	10～12		11/12・13 橋梁技術研修(主催者:山形県) 11/21 溝橋講習会及び支援技術活用講習会	10/7 県版道路メンテナンス概要公表
	1～3	2/17 第2回道路メンテナンス会議 2/17 道路鉄道連絡会議		

1. これまでの活動経緯

山形県道路メンテナンス会議の活動記録

年度	月	会議	研修会・講習会・技術支援	広報活動
2020（R2）	4～6			
	7～9	7/7　事務局会議 9/3　第1回道路メンテナンス会議	9/10　道路メンテナンス研修（橋梁） 現地：天童大橋（天童市） 参加者：63名	8/1～17　老朽化対策パネル展示（県庁）
	10～12		10/20　橋梁技術研修 場所：山形市 参加者：101名 11/5　インフラメンテナンス見学会 現地：糸畔橋（米沢市） 参加者：78名	11/19　道路メンテナンス概要公表
	1～3	2/15　第2回道路メンテナンス会議 2/15　道路鉄道連絡会議		
2021（R3）	4～6	6/11　東北6県事務局会議 6/21　山形県事務局会議	6/19　橋梁点検・打音検査体験学習 現地：谷地橋（河北町） 参加者：22名	
	7～9	9/2　第1回道路メンテナンス会議	7/19　ドローン点検実証試験見学会 現地：新生橋ほか（南陽市） 参加者：87名 9/16　道路メンテナンス研修（座学） WEB会議形式 参加者：222名	8/2～16　老朽化対策ﾊﾟﾈﾙ展示 場所：山形県庁
	10～12	11/9　道路ﾒﾝﾃﾅﾝｽ会議（臨時）	10/18 橋梁技術研修 WEB会議形式 参加者：221名	11/29県版道路メンテナンス概要公表
	1～3	2/10　第2回道路メンテナンス会議 2/10　道路鉄道連絡会議		

1. これまでの活動経緯

資料１－２

山形県道路メンテナンス会議の活動記録

年度	月	会議	研修会・講習会・技術支援	広報活動
2022 (R4)	4～6			
	7～9	6/8　事務局会議		8/1～15　老朽化対策パネル展示（県庁）
	10～12	10/4　第1回道路メンテナンス会議	10/13～14　道路メンテナンス研修（橋梁） 座学：WEB会議形式 参加者：212名 現場：長崎大橋（中山町） 参加者：100名 11/1　橋梁技術研修 WEB会議形式 参加者：193名	
	1～3	2/9　第2回道路メンテナンス会議 2/9　道路鉄道連絡会議		1/31　道路メンテナンス概要公表
2023 (R5)	4～6	6/16　事務局会議		
	7～9	8/9　第１回道路メンテナンス会議	9/15・19　道路メンテナンス研修（橋梁） 座学：WEB会議形式 参加者：163名 現場：長崎大橋（中山町） 参加者：70名	点検に伴う交通規制時広報 ↓
	10～12		11/1　橋梁技術研修・新技術勉強会 現場：大暮橋・長崎大橋 参加者：33名 点検支援技術勉強会 座学：対面形式 参加者：24名	
	1～3	2/6 第2回道路メンテナンス会議 道路鉄道連絡会議 こ道橋連絡会議		1/17　道路メンテナンス概要公表

2. 令和5年度の点検結果（速報値）

資料２－１

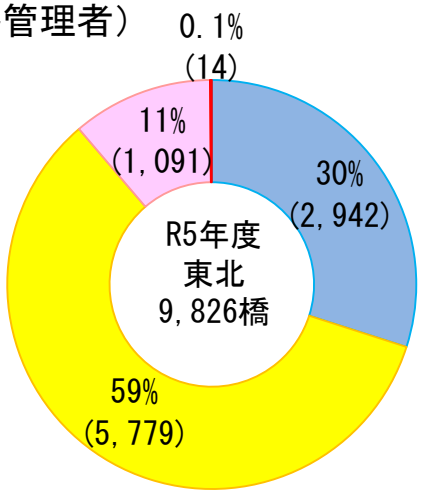
（１）橋梁の判定区分

東北全体

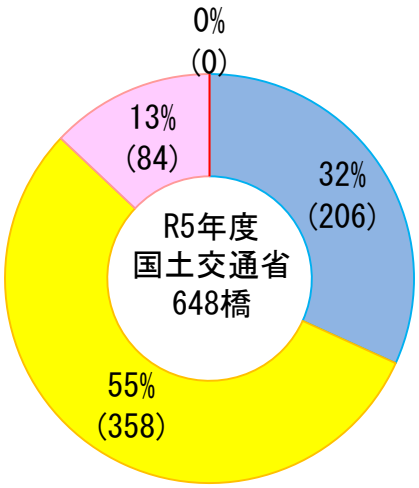
○橋梁では東北（全道路管理者）における
判定区分の割合は、Ⅰ 30%、Ⅱ 59%、Ⅲ 11%、Ⅳ 0.1%

管理者	施設数	R5点検実施数	R5判定区分			
			Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	4,262	648	206	358	84	0
高速道路会社	3,025	599	129	402	68	0
県・政令市	17,009	2,845	733	1,709	403	0
市町村	49,178	5,734	1,874	3,310	536	14
合計	73,474	9,826	2,942	5,779	1,091	14

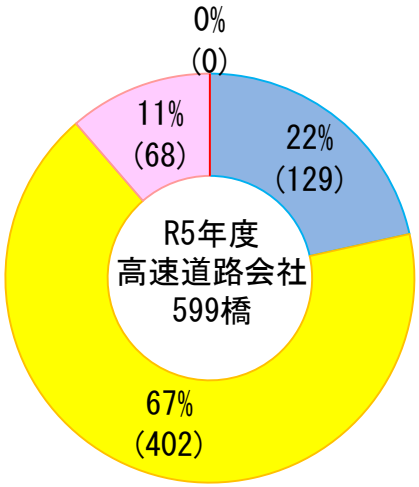
（全道路管理者）



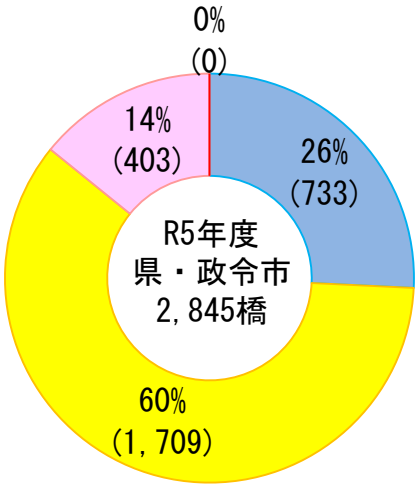
（国土交通省）



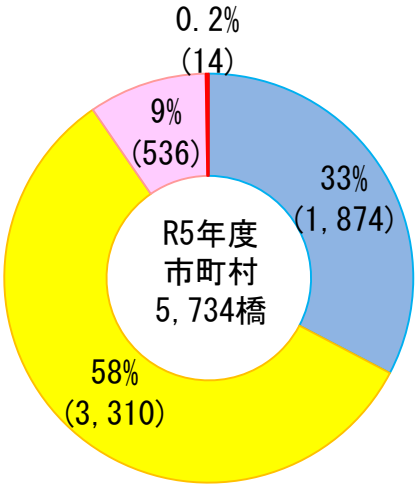
（高速道路会社）



（県・政令市）



（市町村）



※「道路メンテナンス会議」調べ（令和6年3月末時点）
※数値は速報値であり、精査によって変更する場合がある
※施設数は撤去済・廃止済等の施設を除く
※国の県跨ぎ施設は、事務所所在地県にて集計

Ⅰ：健全　Ⅱ：予防保全段階　Ⅲ：早期措置段階　Ⅳ：緊急措置段階

2. 令和5年度の点検結果（速報値）

資料２－１

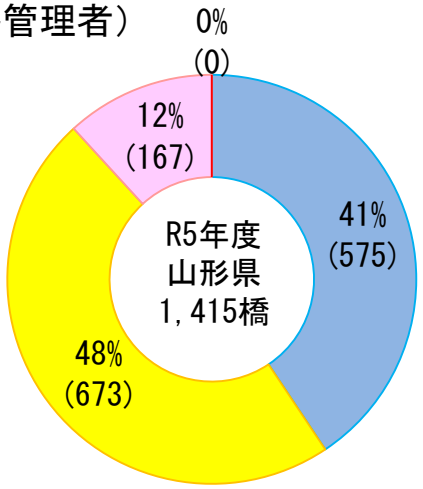
（１）橋梁の判定区分

山形県

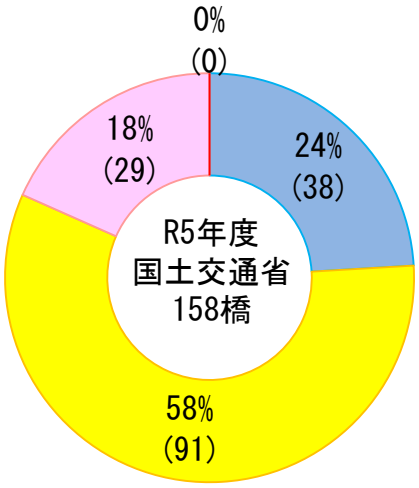
○橋梁では山形県（全道路管理者）における
判定区分の割合は、Ⅰ 41%、Ⅱ 48%、Ⅲ 12%、Ⅳ 0%

管理者	施設数	R5点検実施数	R5判定区分			
			Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	930	158	38	91	29	0
高速道路会社	338	75	16	59	0	0
県	2,512	525	256	191	78	0
市町村	5,717	657	265	332	60	0
合計	9,497	1,415	575	673	167	0

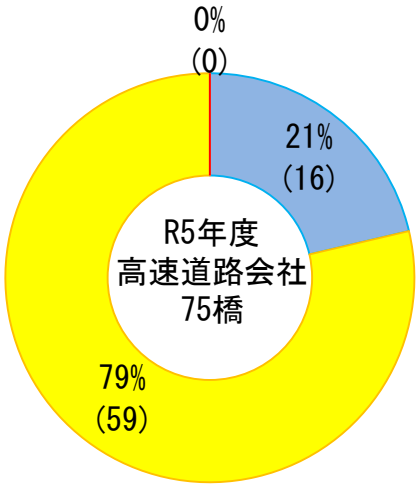
（全道路管理者）



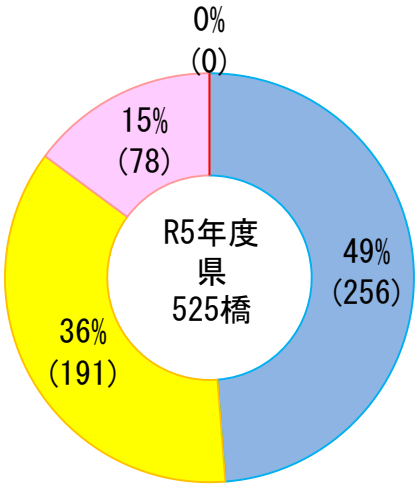
（国土交通省）



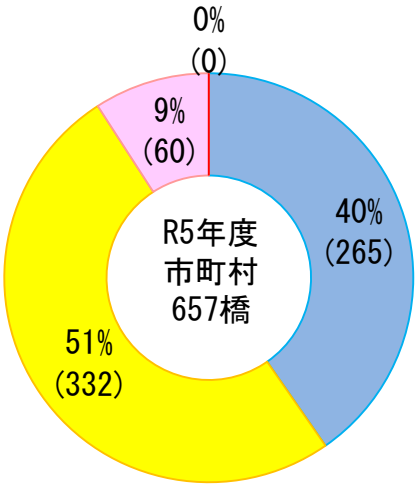
（高速道路会社）



（県）



（市町村）



※「道路メンテナンス会議」調べ（令和6年3月末時点）
※数値は速報値であり、精査によって変更する場合がある
※施設数は撤去済・廃止済等の施設を除く
※国の県跨ぎ施設は、事務所所在地県にて集計

Ⅰ：健全　Ⅱ：予防保全段階　Ⅲ：早期措置段階　Ⅳ：緊急措置段階

2. 令和5年度の点検結果（速報値）

資料２－２

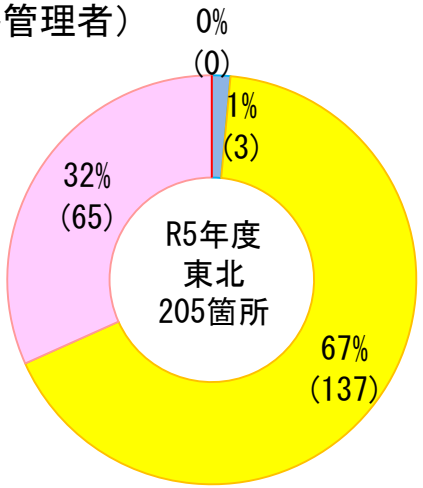
（２）トンネルの判定区分

○トンネルでは東北（全道路管理者）における
判定区分の割合は、Ⅰ 1%、Ⅱ 67%、Ⅲ 32%、Ⅳ 0%

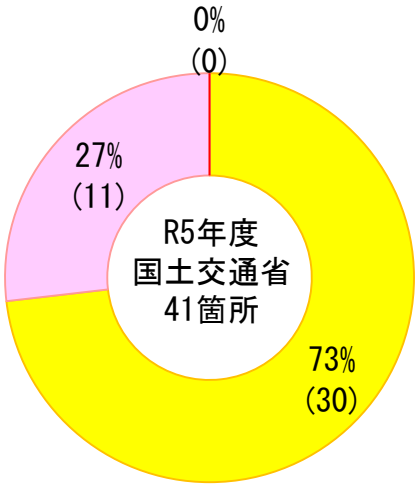
東北全体

管理者	施設数	R5点検実施数	R5判定区分			
			Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	285	41	0	30	11	0
高速道路会社	128	26	0	11	15	0
県・政令市	609	107	2	75	30	0
市町村	163	31	1	21	9	0
合計	1,185	205	3	137	65	0

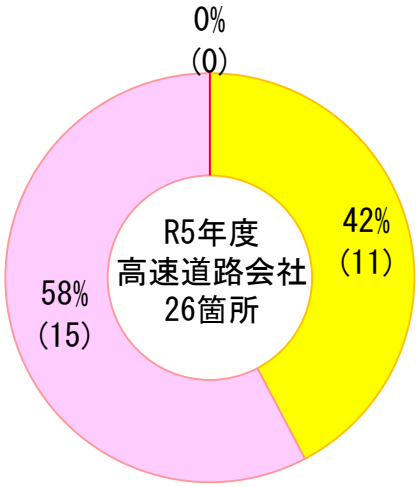
（全道路管理者）



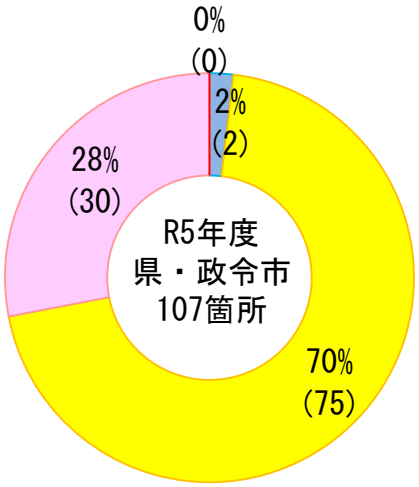
（国土交通省）



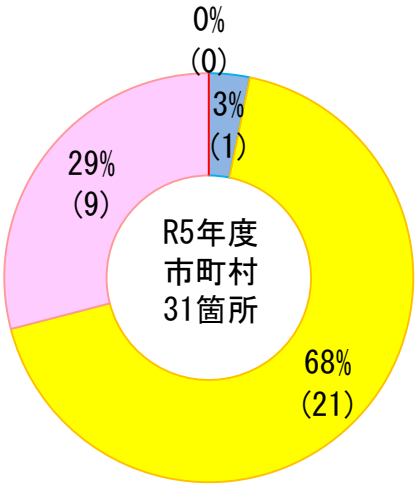
（高速道路会社）



（県・政令市）



（市町村）



※「道路メンテナンス会議」調べ（令和6年3月末時点）
※数値は速報値であり、精査によって変更する場合がある
※施設数は撤去済・廃止済等の施設を除く
※国の県跨ぎ施設は、事務所所在地県にて集計

Ⅰ：健全　Ⅱ：予防保全段階　Ⅲ：早期措置段階　Ⅳ：緊急措置段階

2. 令和5年度の点検結果（速報値）

資料２－２

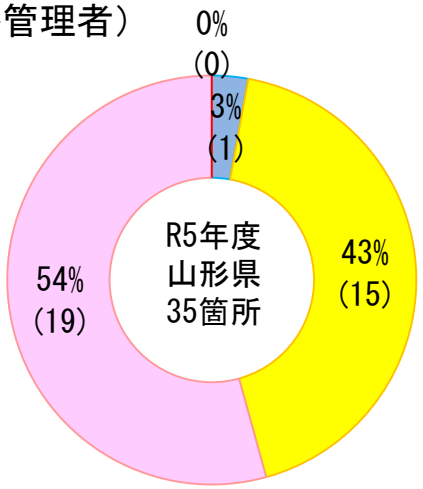
（２）トンネルの判定区分

山形県

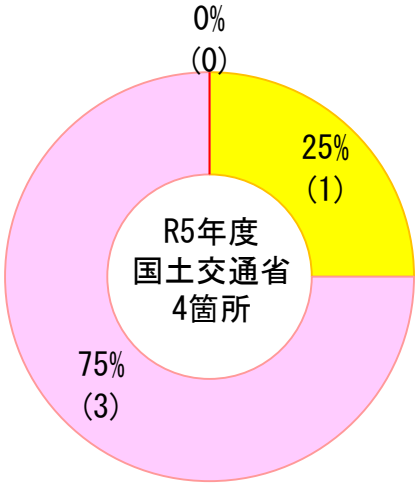
○トンネルでは山形県（全道路管理者）における
判定区分の割合は、Ⅰ 3%、Ⅱ 43%、Ⅲ 54%、Ⅳ 0%

管理者	施設数	R5点検実施数	R5判定区分			
			Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	46	4	0	1	3	0
高速道路会社	40	7	0	1	6	0
県	57	13	0	7	6	0
市町村	18	11	1	6	4	0
合計	161	35	1	15	19	0

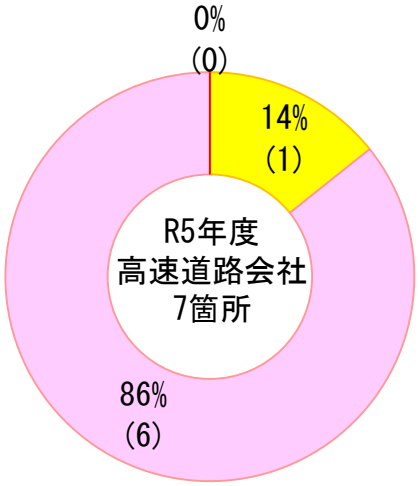
（全道路管理者）



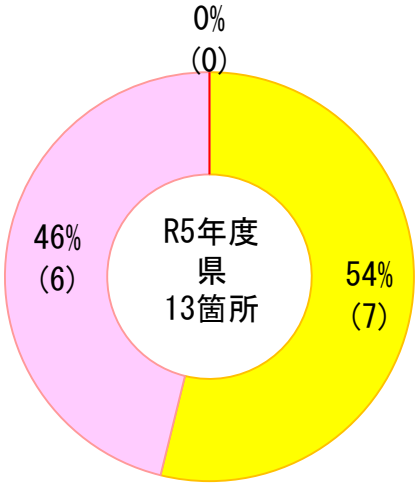
（国土交通省）



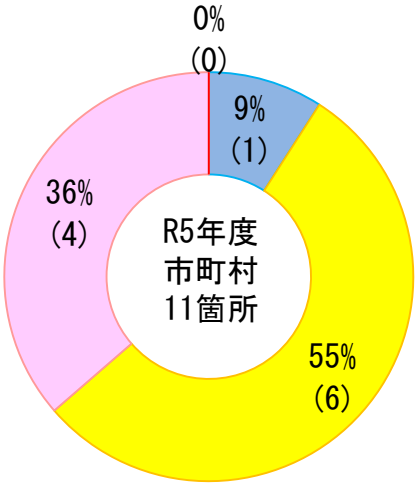
（高速道路会社）



（県）



（市町村）



※「道路メンテナンス会議」調べ（令和6年3月末時点）
※数値は速報値であり、精査によって変更する場合がある
※施設数は撤去済・廃止済等の施設を除く
※国の県跨ぎ施設は、事務所所在地県にて集計

Ⅰ：健全　Ⅱ：予防保全段階　Ⅲ：早期措置段階　Ⅳ：緊急措置段階

2. 令和5年度の点検結果（速報値）

資料２－３

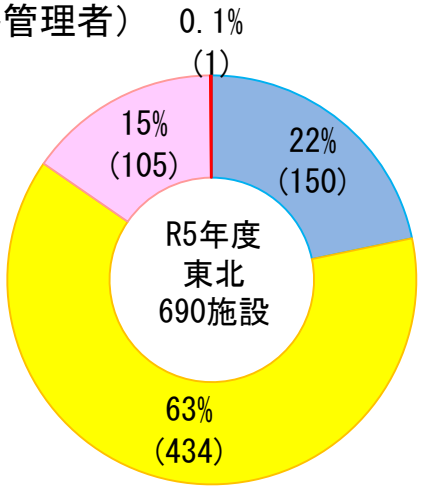
（３）道路附属物等の判定区分
（シェッド・大型カルバート・横断歩道橋・門型標識等）

○道路附属物等では東北（全道路管理者）における判定区分の割合は、Ⅰ 22%、Ⅱ 63%、Ⅲ 15%、Ⅳ 0.1%

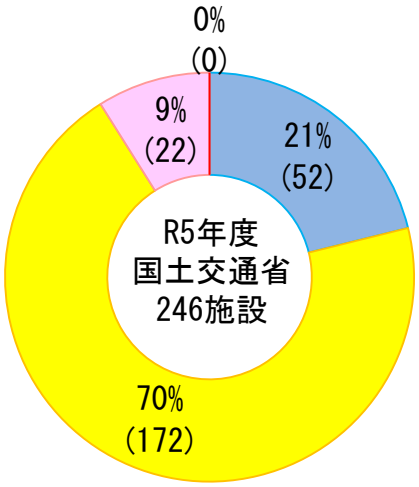
東北全体

管理者	施設数	R5点検実施数	R5判定区分			
			Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	1,322	246	52	172	22	0
高速道路会社	913	184	82	90	12	0
県・政令市	1,110	214	9	141	63	1
市町村	255	46	7	31	8	0
合計	3,600	690	150	434	105	1

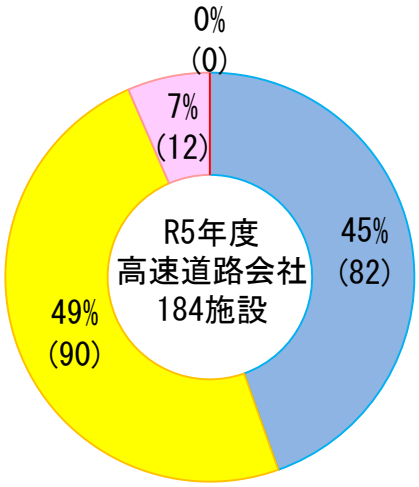
（全道路管理者）



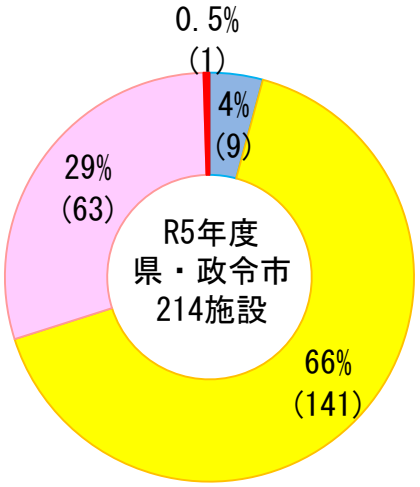
（国土交通省）



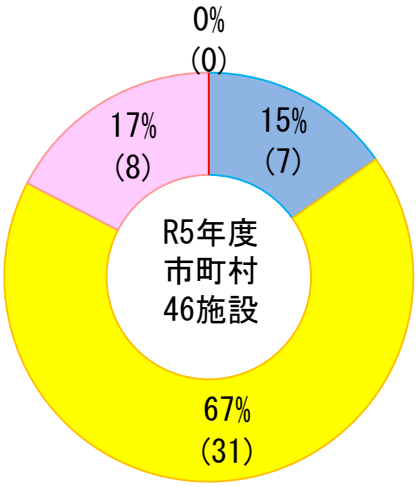
（高速道路会社）



（県・政令市）



（市町村）



※「道路メンテナンス会議」調べ（令和6年3月末時点）
※数値は速報値であり、精査によって変更する場合がある
※施設数は撤去済・廃止済等の施設を除く
※国の県跨ぎ施設は、事務所所在地県にて集計

Ⅰ：健全　Ⅱ：予防保全段階　Ⅲ：早期措置段階　Ⅳ：緊急措置段階

2. 令和5年度の点検結果（速報値）

資料２－３

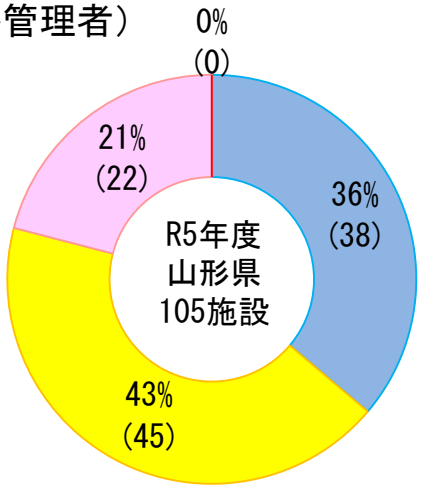
（３）道路附属物等の判定区分
（シェッド・大型カルバート・横断歩道橋・門型標識等）

○道路附属物等では山形県（全道路管理者）における判定区分の割合は、Ⅰ 36%、Ⅱ 43%、Ⅲ 21%、Ⅳ 0%

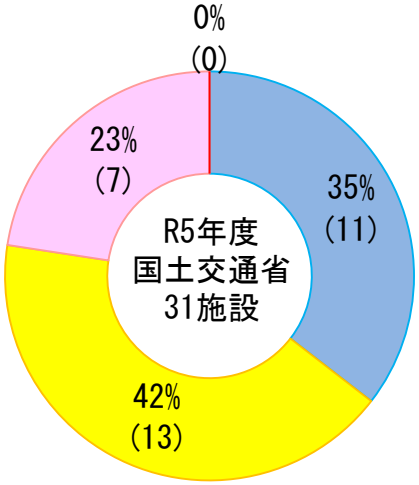
山形県

管理者	施設数	R5点検実施数	R5判定区分			
			Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	229	31	11	13	7	0
高速道路会社	173	28	26	2	0	0
県	132	37	0	23	14	0
市町村	21	9	1	7	1	0
合計	555	105	38	45	22	0

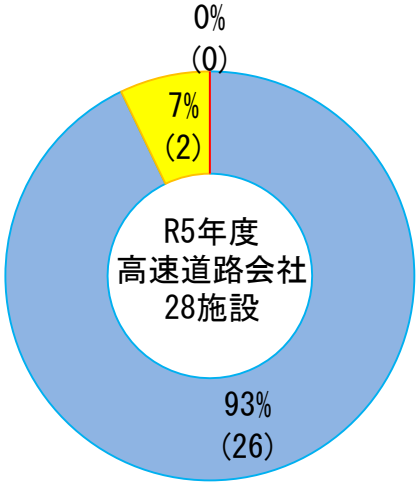
（全道路管理者）



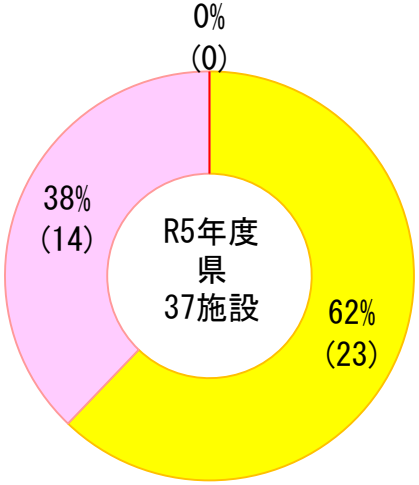
（国土交通省）



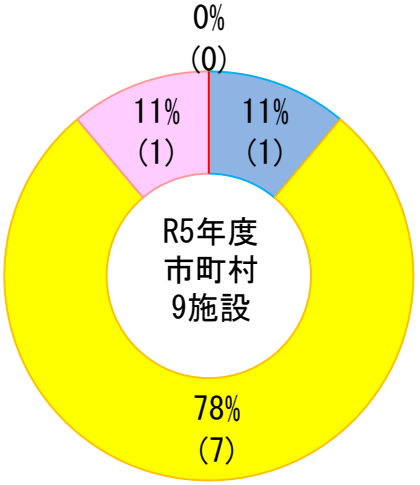
（高速道路会社）



（県）



（市町村）



※「道路メンテナンス会議」調べ（令和6年3月末時点）
※数値は速報値であり、精査によって変更する場合がある
※施設数は撤去済・廃止済等の施設を除く
※国の県跨ぎ施設は、事務所所在地県にて集計

Ⅰ：健全　Ⅱ：予防保全段階　Ⅲ：早期措置段階　Ⅳ：緊急措置段階

3. 令和6年度の活動計画(案)

資料３－１

(１)活動方針

①市町村の技術支援に重点

- 点検支援技術活用講習会
- 新人市町村職員講習会
- 小規模橋梁点検技術講習会
- 「県内道路メンテナンス支援団」

⇒直接現地や役場に出向いて、市町村への技術支援を実施

②広報の拡充(情報発信)

- 道の駅での広報を継続(老朽化の現状や対策による効果の発信)
- 県版「道路メンテナンス概要」を公表

③効率的に会議を開催

- 会議同日に、道路鉄道連絡会議、こ道橋連絡会議を開催
- 会議開催日は議会日程に配慮

3. 令和6年度の活動計画(案)

資料３－２

(２)年間スケジュール(山形県)

年度	月	会議	研修・講習会	広報活動
2024 (R6)	4			
	5			
	6			
	7		橋梁初級Ⅰ研修(Ⅰ期) (7/22～7/26)※	
	8		橋梁初級Ⅰ研修(Ⅱ期) (8/26～30)※	
	9	9/13　第1回道路メンテナンス会議	トンネル初級研修 (9/17～20)※	
	10		道路メンテナンス研修(橋梁)	老朽化対策パネル展示（県庁・道の駅） (10月1日～10月31日)
	11		道路メンテナンス研修(新技術)、橋梁技術研修 橋梁中級研修 (10/29～11/1)※	県版「道路メンテナンス概要」公表
	12			
	1			
	2	第2回道路メンテナンス会議 道路鉄道連絡会議・こ道橋連絡会議		
	3		※青字は整備局主催研修	

3. 令和6年度の活動計画(案)

資料３－３

(３)道路メンテナンス会議開催時期等

第1回:本日

- 令和5年度の点検結果
- 令和6年度の活動方針の決定
- 講習会、研修、広報等の実施方針
- 道路鉄道連絡会議、こ道橋連絡会議に向けた作業確認

第2回:令和7年1～2月

- 令和6年度の活動報告
- 2巡目点検施設の修繕等措置の実施状況

3. 令和6年度の活動計画(案)

資料３－３

○道路鉄道連絡会議、こ道橋連絡会議

道路鉄道連絡会議

開催日程:令和7年1～2月

議題(案):

- 跨線橋の点検実施状況
- 跨線橋の点検・修繕計画
- 鉄道管理者からの要望事項等

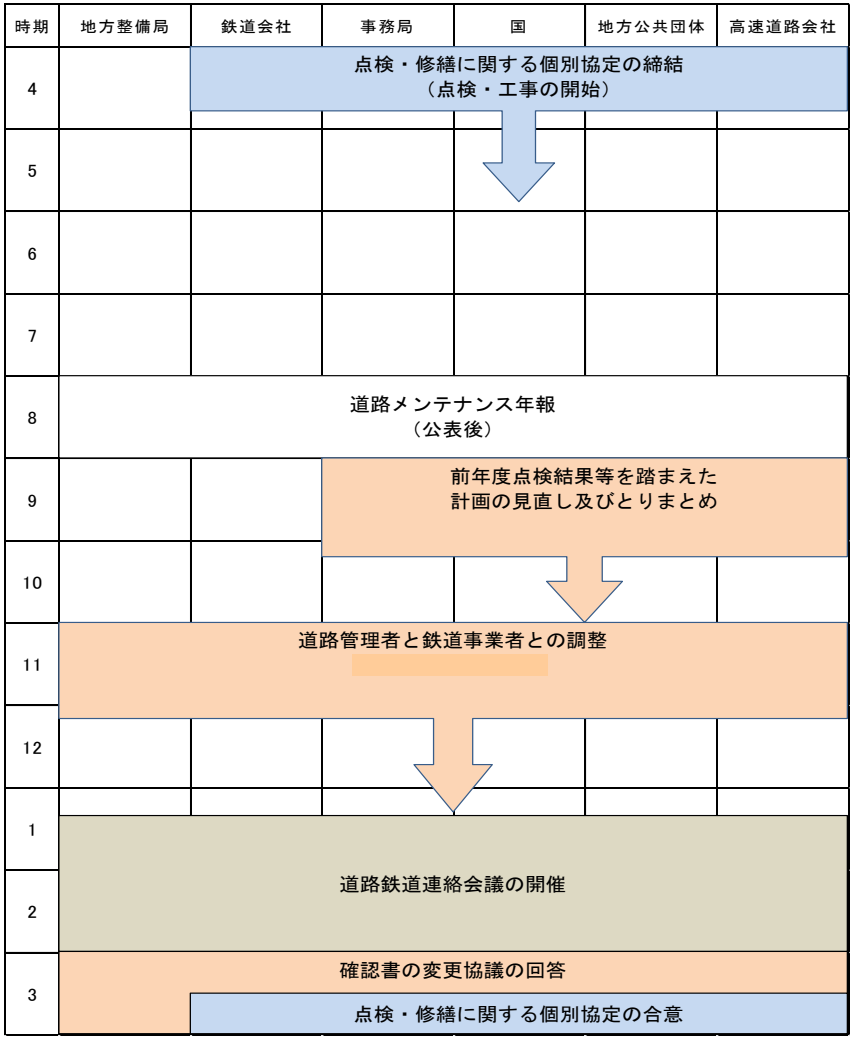
こ道橋連絡会議

開催日程:令和7年1～2月

議題(案):

- 法定外施設の点検実施状況
- こ道橋管理者からの要望事項等

＜道路鉄道連絡会議の年間予定＞



3. 令和6年度の活動計画(案)

(４)技術力向上、点検の効率化

○点検実習講習会

①　橋梁点検講習会（現地）

■　開催時期　：　令和６年１０月頃
■　場　　所　：　国道１１２号　長崎大橋
■　参加規模　：　８０名程度
■　目　　的　：　管理者として必要な点検・保全技術の向上を目的に、橋梁を対象にそのポイントについて座学と現地講習を実施。



▲過去の橋梁点検講習会の様子

②　点検支援技術活用講習会

■　開催時期　：　令和６年１１月頃
■　場　　所　：　調整中
■　参加規模　：　３０名程度
■　目　　的　：　点検要領の改定を受けて利用可能となった、点検支援技術の理解を深め、効率的な点検の活用促進を図るため、技術活用の流れや技術選定の留意点、現地での活用方法について座学と実演により知見の習得を目指す。



▲過去の橋梁点検支援技術講習会の様子

3. 令和6年度の活動計画(案)

資料３－４

(４)技術力向上、点検の効率化

○地方自治体への支援(東北地方整備局主催研修)

※令和5年度の実施状況:延べ14名の地方公共団体職員が受講

【令和６年度研修（計画）】

①道路構造物管理実務者研修

〈東北地方整備局〉

対　　象:地方公共団体職員及び直轄職員

目　　的:地方公共団体の職員の技術力育成のため、
定期点検要領に基づく点検に必要な知識・技能等
を習得するための研修

下表4研修は全て全国統一のカリキュラム

橋梁初級(Ⅰ期、Ⅱ期)は同内容を2回開催予定)

橋梁初級:法に基づく点検において最低限必要な技能と知識について

橋梁中級:補修、補強に関する研修



研修名	開催時期	募集期間	募集定員	申し込み(参加)状況 (　)は地公体職員数
橋梁初級(Ⅰ期)	7/22～7/26	5/31まで	20名	21名(12名)
橋梁初級(Ⅱ期)	8/26～8/30	5/31まで	20名	18名(6名)予定
トンネル初級	9/17～9/20	5/31まで	20名	11名(0名)予定
橋梁中級	10/29～11/1	5/31まで	20名	12名(3名)予定

3. 令和6年度の活動計画(案)

(５)広報活動

■公共の場を活用し、一般者へ情報発信

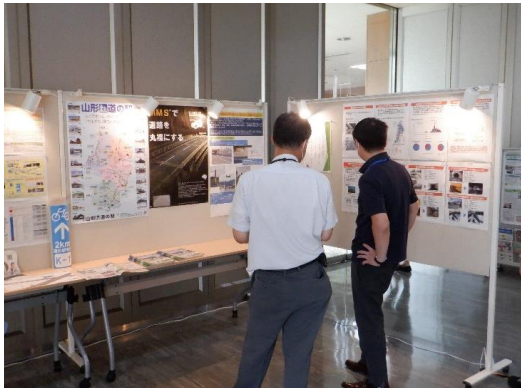
1. パネル展示による広報

■目　　的　：道路施設老朽化の現状や対策による効果を理解してもらうためパネル展を実施

■内　　容　：一般者でも分かり易いイラストのパネルで老朽化を紹介

■開 催 期 間　：令和6年9月1日～15日予定（山形県庁・道の駅　等）

■対　　象　：一般者（観光客　等）



▲山形県庁ロビー　展示イメージ



▲道の駅　展示イメージ



▲道の駅　展示イメージ

4. 技術支援

県内道路メンテナンス支援団

道路施設の点検や保全関係の技術的課題に係る自治体からの疑問や相談に対応するアドバイザーチームとして、『県内道路メンテナンス支援団』を設置
直接現地や役場に出向いて、市町村への技術的助言・支援を実施



市町村管理の道路施設（橋梁、トンネル、附属物、舗装、土工等）

支援

支援目的・内容

- 定期点検促進
- 予防保全、修繕に係る技術的課題の解決

相談

例えば、
○補修の優先順位を付けるための知恵を貸してほしい。
○点検要領の勉強会を役場で開催したい。
○劣化状況を見に来てアドバイスしてほしい。
などなど気軽な相談を。

県内道路メンテナンス支援団

損傷が著しいと診断された橋梁の対応方策について相談
⇒県内道路メンテナンス支援団で現地を確認し
措置方法等について助言

＜実施事例①（秋田県）R2.9＞





＜実施事例②（岩手県）R2.10＞





＜実施事例③（福島県）R4.1＞





4. 技術支援



急速に老朽化する社会資本の対策を強化するため、点検データ等を活かした、より戦略的・効率的なメンテナンスを推進するための組織として、令和5年4月1日に「東北道路メンテナンスセンター」を設置しました。
東北道路メンテナンスセンターでは、直轄国道の橋梁点検・診断で培ったノウハウを活用し、地方公共団体向けの技術相談を行っています。

技術相談のながれ

いま、多くの道路管理者が、インフラメンテナンスの人材や技術力、予算不足という課題を抱えています。
東北道路メンテナンスセンターでは、メンテナンスに関する技術的な助言やサポートを実施しています。

※技術相談に係る費用負担はありません。ただし、相談内容により他機関の協力が必要となった際は、費用負担が生じる場合があります。

相談受付

電話もしくはメールでお問い合わせください。
ご相談を受け付けた後、担当者からお返事します。

【窓口】 東北道路メンテナンスセンター　技術課
【連絡先】電話　022－352－3811（代表）
メール　thr-tohoku-mc@ki.mlit.go.jp

「点検のポイントを教えてほしい。」
「損傷の原因が分からない。」
「点検の診断結果が正しいか教えてほしい。」
「補修方法の基準や選定方法がわからない。」
「点検支援技術を使ってみたいが、どんな技術があるのか教えてほしい。」
「技術力向上のため研修講師をしてほしい。」
等、現場で困っていることをご相談ください。

↓

相談内容の確認

お手持ちの資料（橋梁台帳、点検調書等）を準備いただきご相談内容をお聞かせください。
必要に応じて、打ち合わせ（web会議システムでも可能）や現地調査準備なども行います。

回答

打ち合わせや現地調査等が不要な場合は、ご提供いただいた資料を参考にメールにて回答します。

↓

現地調査

ご相談内容によっては、現地調査を実施して、実際に対象橋梁や道路状況等を見ながらメンテナンスセンター職員他が現地にて技術的な説明を行います。

↓

技術的助言・情報提供

相談内容に対する技術的助言や情報提供を行います。
また、必要に応じて調査報告書等のレポートも作成し提供します。

国土交通省　東北地方整備局
東北道路メンテナンスセンター
〒985-0842 宮城県多賀城市桜木三丁目6-1
電話 022-352-3811（代表） Fax 022-365-7899（代表）

交通アクセス
・ＪＲ仙石線の多賀城駅から徒歩20分、車で約10分。
・バスでお越しの際は、多賀城駅前「2番のりば」から宮城交通 汐見台団地線 菖蒲田行きに乗車して「桜木三丁目」で下車、目の前（約10分）。

（Ｒ６.4月）

令和5年度の技術相談

No.	種別	相談内容
1	資料照会	「設計施工マニュアル（橋梁編）」に記載の数値根拠について
2	技術助言	損傷が著しい人道橋の補修可否について
3	資料照会	「設計施工マニュアル（橋梁編）」の改訂内容について
4	技術助言	橋梁撤去のコスト縮減、工事監督への助言等について
5	技術助言	長大橋の補修方針について
6	技術助言	プレテンションＩ桁 跨線橋の補修方法について
7	技術助言	床版損傷の非破壊調査結果について
8	技術助言	下部工断面補修工法の管理項目設定について
9	技術助言	道路橋・歩道橋兼用の橋脚の定期点検について
10	技術助言	落橋防止装置の省略の考え方等について
11	技術助言	老朽化した橋梁の補修可否について
12	技術助言	遊間異常がある橋梁の対応方針について
13	技術助言	有害物質が含有した塗装の除去工法について
14	技術助言	橋梁点検におけるボルト一群の考え方について

【合同現地調査・報告書提供】



